

平成22年度決算に係る

定期監査調書

平成23年4月

中部教育局

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	2頁
5	役付職員の調べ	2頁
6	主な事業に関する調べ	3頁
7	収入証紙取扱額調べ	10頁
8	収入事務処理状況調べ	10頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	11頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	12頁
11	不納欠損額調べ	12頁
12	負担金、交付金及び委託料支出状況調べ	12頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	12頁
14	財産に関する調べ	12頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	12頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	12頁
19	寄附物件の受納状況調べ	12頁
20	備品の処分状況調べ	12頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	12頁
22	小中学校等への支援の状況調べ	13頁
23	意見・要望等	13頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(班)名	課の主な所掌事務
鳥取県教育委員会 事務局中部教育局	学事係	<ul style="list-style-type: none"> ・公印の管守に関する事 ・管内小中学校管理の指導、人事及び給与に関する事 ・児童生徒数・学級編成及び教職員定数に関する事 ・教育表彰に関する事 ・臨時的任用職員の発令に関する事 ・非常勤講師の任免・報酬の支払に関する事 ・叙位・叙勲に関する事 ・局予算の執行に関する事
	学校教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・市町立学校の学校運営、教育課程、学習指導及び生徒指導に関する事 ・関係各課、市町教育委員会との連絡に関する事 ・市町立学校の教科用図書及び教材の取扱いに関する事 ・学習障がい等特別な教育支援を必要とする児童生徒の教育指導に関する事 ・幼児教育に関する事 ・管内教職員の研修、研修派遣及び研究指定に関する事 ・人権教育に関する事 ・教育相談に関する事
	社会教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習及び社会教育に関する事 ・社会体育に関する事 ・公民館の設置運営に関する事 ・社会教育関係団体との連絡及び必要な指導及び助言に関する事

4 職員の定員、現員調べ

(平成23年4月1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	
	定員	12	12	1	1			13	13	
	現員	() 12	() 12	() 1	() 1	()	()	() 13	() 13	技術職員(教育相談員)1名は倉吉東高等学校と併任
	過不足(Δ)							0	0	
	臨時職員							0	0	
	非常勤職員	1	1					1	1	

5 役付職員の調べ

(平成23年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
局長	生田文子	0	0	中部総合事務所 参事監
次長	近藤健	0	0	出納員

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要	要
<p>教育局運営費 決算(見込)額 5,300,000円 (財源内訳) 国庫支出金 0円 一般財源 5,300,000円 その他 0円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 ・中部地区の学校教育及び生涯学習・社会教育の振興・充実を図るため、中部地区の実態を把握し、学校及び市町教育委員会に対し、指導、助言、情報提供を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>◎学校の活力を高める支援と協働</p> <p>○授業改善・教育課題(学力向上、人間関係づくり、生徒指導上の諸問題等)の解決に向け、学校の実態を把握し、協働して「学校力」の向上を目指した。</p> <p>・要請訪問・・・小学校30校、中学校12校へ各2回以上計画的に訪問した。 その他要望に応じて訪問を行った。</p> <p>・幼稚園、保育所の要望に応じて訪問を行った。</p> <p>・生徒指導に係る学校訪問 (「22 小中学校等への支援状況調べ」参照)</p> <p>・小中学校・高等学校連携推進事業【詳細はP5】</p> <p>・人間性・社会性を基盤とした授業研究支援事業【詳細はP7】</p> <p>○学校運営・人事管理上の課題(教職員評価育成、教職員配置等)への対応</p> <p>・人事に関する学校訪問を各学校年2回行った。</p> <p>・小・中学校事務の共同実施責任者会を年4回開催し、学校運営の課題について改善策を検討した。</p> <p>・校長会(月1回)教頭会(年3回)で学校運営上の問題点等を協議し、適切な指導助言を行った。</p> <p>・中堅教員を対象に「教育法規の運用について」の研修会を行った。</p> <p>○PTA活動の活性化</p> <p>・PTA指導者研修会 年1回【詳細はP9】</p> <p>◎市町教育委員会の自立度を高める支援と協働</p> <p>○学力向上へ向けての協働</p> <p>・中部地区指導主事連絡協議会(年3回)開催</p> <p>・研究主任等研修会(年1回)開催</p> <p>○特別支援学級の相談活動による校内体制の強化</p> <p>・定期的、継続的な巡回相談等による支援を行った。</p> <p>・特別支援学級担任のための手引きを活用した学級経営の充実を図った。</p> <p>・校内支援体制の整備にあたり個別の教育支援計画・個別の指導計画を継続的に活用するよう助言した。</p> <p>○地域活動・生涯学習の活性化</p> <p>・社会教育、社会体育、社会人権・同和教育担当者研修会の開催(年16回)</p> <p>・公民館職員・社会教育主事等企画能力向上研修会の開催(年2回) 【詳細はP8】</p> <p>・学社連携(学校教育と社会教育の連携)による生涯学習推進</p> <p>教育局で発行している情報誌にて、学社連携の各取組を実施地区以外の地域にも周知した。</p>	

事業名	概要
	<p data-bbox="539 152 1241 235">・社会教育及び人権教育に関する市町合同研究協議会の実施 (実施市町:三朝町・湯梨浜町・北栄町)</p> <p data-bbox="432 302 1118 336">イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul data-bbox="515 349 1449 582" style="list-style-type: none"> ・社会教育と社会体育、社会教育と市町教育委員会指導主事で合同研修を実施し、担当者間の連携強化を図り、研修を実践につなげやすい内容とした。 ・市町教育委員会の社会教育関係担当者の連携を密にするため電子メールで情報交換する場を設け、各市町の事業の情報交換及び中部総合事務所掲示板を活用して情報発信した。 <p data-bbox="432 649 563 683">ウ 成果</p> <ul data-bbox="515 696 1465 1126" style="list-style-type: none"> ・各学校を訪問して、学校課題を把握し指導助言を行うことで、各学校の課題解決の取組を支援できた。 ・「人間性・社会性を基盤とした授業研究支援事業」の推進を通して学び合い、高め合う授業の大切さを各学校に伝え、実践協力校における授業力向上につながった。 ・特別支援教育における計画的・継続的な巡回相談により、校内体制の整備や個別の指導計画及び個別の教育支援計画の継続的活用が推進された。 ・市町教育委員会の社会教育、社会体育、社会人権・同和教育担当者研修会を主体的に運営し、担当者が抱えている課題を設定したことで、県として効果的な情報提供ができ、各市町の課題解決に活かすことができた。 <p data-bbox="432 1193 563 1227">エ 課題</p> <ul data-bbox="515 1240 1465 1424" style="list-style-type: none"> ・「人間性・社会性を基盤とした授業研究支援事業」での取組を実践協力校以外の学校に広げ、成果を還元していく必要がある。 ・特別支援学級の教育課程が適切に編成されるためのさらなる指導・支援が必要である。

事業名	概要
<p>小中学校・高等学校 連携推進事業 (H19～継続)</p> <p>決算(見込)額 303,000円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 0円</p> <p>一般財源 303,000円</p> <p>その他 0円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 校種を超えた相互連携・指導の連携により、児童生徒の進路意識の高揚や学ぶ意欲の向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 小・中学校・高等学校校長会、教頭会で事業の概要説明及び成果のあった取組事例の紹介を行った。 事業実施が円滑にすすむように以下の連絡調整等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校の希望をまとめ高校へ提案し、実施スケジュールを作成(日程調整) ・事業実施に係る各種書類作成及び、提出の連絡(計画書・事業実施・報告書) ・高校への必要経費(需用費・役務費)令達、貸切バス借上手続き ・事業実施の様子を取材し、ホームページに掲載(広報活動) <p>事業内容は以下のとおり</p> <p>◎交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社小5年生と倉吉農業高2,3年生(環境科学科) <ul style="list-style-type: none"> ・初まき体験(5/10)、田植え体験(6/16)、稲刈り・亥の子行事の参加(10/21) ○灘手小1・2年生と倉吉農業高3年生 <ul style="list-style-type: none"> ・花・作物の栽培体験(7/12、9/6、10/25、12/1) ○向ヶ丘レインボープラン(大栄小・大栄中・鳥取中央育英高における連携事業) <ul style="list-style-type: none"> ・大栄小「プール開き」への高校水泳部の参加(6/4) ・大栄小「学習発表会」、大栄中「文化祭」への高校吹奏楽部の参加 ・大栄中「高校での授業、部活動体験」 ・「授業研究会(数学・国語)(鳥取中央育英高 9/21、大栄小11/17) ○久米中1年生と倉吉農業高3年生「花の栽培体験」(8/30、9/27、11/17) ○赤崎中吹奏楽部生徒と鳥取中央育英吹奏楽部生徒「部活動交流」(12/4) ○倉吉西高生徒会との生徒会交流(1/31)久米中生徒会対象 ○倉吉総合産業高生徒会との生徒会交流(2/24) 東郷中執行部員対象 <p>◎出前授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○倉吉東高教員による出前事業 <ul style="list-style-type: none"> ・英語科授業(6/17)河北中希望する3年生対象 ・音楽科授業(6/28)上小鴨小5・6年生対象 ・外国語活動授業(7/1) 小鴨小5. 6年生対象 ・音楽科授業(8/19) 三朝中選択音楽の生徒対象 ・体育(陸上競技)授業(9/21) 小鴨小5. 6年生対象 ・音楽科授業(10/13) 小鴨小4・5. 6年生対象 ・音楽科授業(10/15) 上小鴨小4・5. 6年生対象 ・音楽科授業(2/4) 三朝中3年生対象 ○倉吉総合産業高教員による理科授業(1/14) 上北条小5. 6年生対象

事業名	概要
	<p>◎体験学習等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○倉吉東高体験学習(中学校3年生希望者対象) <ul style="list-style-type: none"> ・中学生向け英語・数学特別講座(9～1月の毎月1回休業日の午前中に実施) ○倉吉西高体験学習 <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川中2年生の体験学習(10/25) ・久米中2年生の体験学習・座談会(11/29) ○倉吉総合産業高にて上北条小2年生の体験学習「町たんけん」(10/12) <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業4年目となり、成果のあった取組事例を校長会、学校訪問等で情報提供した。 ・市町教育委員会へ事業内容を情報提供した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校から交流活動等の実施希望が増えた。 (H21年度 23回 → H22年度 38回 増加数14) ・出前授業、体験学習では、「授業がわかりやすく、今の学習の参考になった。」「将来へのためになった。」「うれしかった、楽しかった」等の感想の声が集まり、進路意識の高揚につながった。 ・小・中学生との関わりを通じて、高校生自身の有用感、わかりやすく説明する能力の必要性に気づく姿が見られた。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の現状及び関係校の状況を互いに認識して交流内容を検討し、実施につなげていく必要がある。

事業名	概要
<p>人間性・社会性を基盤とした授業研究支援事業</p> <p>(H22～H23)</p> <p>決算(見込)額 275,000円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 0円</p> <p>一般財源 275,000円</p> <p>その他 0円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 児童生徒の豊かな人間性・社会性を育みながら、学び合い、高め合いのある授業をめざす協同的な研究を支援する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○推進委員会(中小研・中教振会長、実践協力校校長、指導主事等の10名で構成) ・平成22年6月3日(木) ・事業内容の説明および今年度の取組について</p> <p>○実行委員会(実践協力校担当教諭、指導主事等9名で構成) ・平成22年6月3日(木) ・各校の取組および研究会の日程について</p> <p>○SST(ソーシャルスキルトレーニング)公開模擬授業研究会 中部地区小中学校教員参加 ・東郷小 6/14(月) 浦安小 6/21(月) 東郷中 6/29(火) 東伯中 9/10(金)</p> <p>○公開授業研究会…中部地区小中学校教員参加 ・浦安小学校 11/12(金) 社会科・東郷中学校 1/22(月) 数学科、社会科</p> <p>○実践発表及び講演会 ・平成22年8月17日(火) 倉吉交流プラザ 参加者:250人 【実践発表】 東郷小学校、浦安小学校、東郷中学校、東伯中学校 【講演会】 演題 「学び合い、高め合いのある授業をめざして」～授業づくりと教師集団～ 講師 宇都宮大学教育学部 松本 敏 教授</p> <p>○教育センターのスーパーバイザー事業研究発表大会で、この事業の取組を発表</p> <p>○事業の取組等を中部教育局HPへの掲載</p> <p>○SSTプログラムを希望校へ提供</p> <p>○取組に当たって留意した点</p> <p>・実践協力校へ随時訪問して取組状況を把握しながら、具体的な資料等を提示しながら指導・助言を行ってきた。</p> <p>・SST公開模擬授業、公開授業研究会、実践発表及び講演会については、各学校1名以上の参加をうながし、取組についての紹介及び啓発を図った。</p> <p>・希望校へはSSTプログラム提供および教職員あるいは児童生徒対象のSST演習を実施し、広く啓発を図った。</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点(新規事業)</p> <p>ウ 成果</p> <p>・SSTの取組が実践協力校で共通理解され、年間を通して実態に応じて実施された。</p> <p>・人間関係を土台とした「学び合い、高め合いのある授業」づくりの重要性が中部地区へ啓発できた。</p> <p>・全教職員による協同的な研究推進の必要性が提唱できた。</p> <p>エ 課題</p> <p>・SSTを授業でどう活用していくか、各研究会を通して具体的な取組や提案ができたが、1年目の取組を評価しつつ、「学び合い、高め合いのある授業」づくりを実践していくために中部地区各小中学校へどう支援していくかが課題である。</p>

事業名	概要
<p>地域づくりの拠点としての公民館振興事業 (H18～H22)</p> <p>決算(見込)額 162,140円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 0円</p> <p>一般財源 162,140円</p> <p>その他 0円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 市町村における生涯学習・社会教育の推進を図るため、公民館職員、社会教育主事等が社会教育や公民館活動の企画に関する専門的知識、運営に関する考え方や実務的スキルを習得し、住民の学習要求や社会が要請する課題に対応できる資質の向上を図るための研修を実施する。 (年間6回開催のうち、中部教育局は2回実施)</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○第4回公民館職員・社会教育主事等企画能力向上研修 平成22年8月25日(水) 13:15～16:30 倉吉体育文化会館 参加者:60人 内容:講演・実践発表・ワークショップ</p> <p>○第6回公民館職員・社会教育主事等企画能力向上研修 平成22年12月8日(水) 13:15～16:30 県立倉吉体育文化会館 参加者:76人 内容:講演とワークショップ</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修でワークショップを実施し、参加者同士の体験共有、意見表出、創造表現意見集約その他のコミュニケーションを深めることを狙った。 ・研修テーマに鳥取県公民館振興プランの基本的な考え方を位置づけ、振興プランの理解、浸透に努めた。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修後の参加者アンケートによると第4回が89.8%、第6回が93.7%が持ち帰って実践に活かせると評価している。 ・研修後、中部地区の公民館をすべて訪問し、現状と課題を把握し「訪問のまとめ」を作成している。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業棚卸しにより、市町村で実施すべきという判断もあり、事業廃止とした。

事業名	概要
PTA指導者支援事業 (H18～H22) 決算(見込)額 74,110円 (財源内訳) 国庫支出金 0円 一般財源 74,110円 その他 0円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 各学校のPTA役員が、子どもたちをとりまく今日的課題の解決に向けて研修するとともに、PTAの組織や活動が活発になるよう研修することによりPTA指導者としての資質の向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 中部地区小・中学校、高等学校及び県内特別支援学校PTAを対象とした研修会を実施した。</p> <p>○PTA指導者研修会(中部会場) 平成22年6月26日(土)13:00～16:00 伯耆しあわせの郷 参加者:84人 内容:施策説明、講演、ワークショップ(4分科会)</p> <p>第1分科会 学校と家庭・地域の連携 第2分科会 ケータイリテラシーについて考える 第3分科会 保護者が相互に高め合うPTA活動(人権教育) 第4分科会 子どもの自立、社会参加(特別支援学校)</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のPTA調査の結果を踏まえ、従前の基調講演を廃し、どの分科会でも参加型を意識し、自分の学校と他校との情報交換ができる話し合いの場を設け、持ち帰れる研修、他のPTAの様子がわかる研修とした。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修方法を参加型として体験するとともに、情報交換の場を設けたため、それぞれの課題や成果を出し合うことができ、好評であった。アンケートで良かったという回答は97.6%。 ・アンケートによると、今後のPTA活動の実践に役に立つという回答は82.1%。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修後、研修の成果を各PTAでどう活かしているか、評価ができていないが、「PTA調査」を利用して把握に努めたい。 ・事業棚卸しにより、事業内容を見直すとともに、事業要求課を家庭・地域教育課に移管した。(実施主体は、県PTA協議会の予定)

7 収入証紙取扱額調べ
該当なし

8 収入事務処理状況調べ
(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料
該当なし

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入
該当なし

(5) 諸収入

(平成 22 年 12 月 31 日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入	雑入	非常勤講師 雇用保険料	404	370,344	370,344	0	0	会計規則運用方針 第41条関係	
		個人情報にかか る経費 (コピー、郵送 代)	1	560	0	560		個人情報保護事務 取扱要綱第8	
		計(節)	405	370,904	370,344	0	560		
		目計	405	370,904	370,344	0	560		
		合計	405	370,904	370,344	0	560		

9 収入未済額調べ

(平成22年12月31日現在)

(単位:円)

収入科目		区分		過 年 度						現 年 度 分			収入未済計額 (A+B)	未收理由	
		目	節	細節	前年度以前からの繰越額	左のうち収入済額	不納欠損額	差引収入未済額 (A)	収入未済額の調定年度内訳			調定額			収入済額
					19年度以前	20年度	21年度								
雑入	雑入		個人情報にかかるとかかる経費 (コピー、郵送代)	560	0	0	0	560	0	0	560	0	0	560	
			計(節)	560	0	0	0	560	0	0	560	0	0	560	
			計(節)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			目 計	560	0	0	0	560	0	0	560	0	0	560	
雑入	雑入							0						0	
								0						0	
			目 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			合 計	560	0	0	0	560	0	0	560	0	0	560	

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

収入科目			債権管理事務取扱要領の作成の有無	取り組み状況	取り組み効果
目	節	細節			
雑入	雑入	個人情報にかかる経費 (コピー、郵送代)	無	来局の際 口頭で 納入依頼 電話で納入依頼	

11 不納欠損額調べ
該当なし

12 負担金、交付金及び委託料支出状況調べ
該当なし

13 工事請負費調べ
該当なし

14 財産に関する調べ
(1) 公有財産
該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成22年12月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		購入額	使用額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び 郵便はがき	39,026	24,000	45,580	17,446	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークー ポン券	0	0	0	0	
鉄道プリペ ードカード	0	0	0	0	
合計	39,026	24,000	45,580	17,446	

(3) 債権
該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ
該当なし

16 借受不動産明細調べ
該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ
該当なし

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ
該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ
該当なし

20 備品の処分状況調べ
該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
該当なし

22 小中学校等への支援の状況調べ

(平成22年12月31日現在)

(単位 回)

月別	保育所 幼稚園		小学校		中学校		特別支援 学校		高等学校		合計	
	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問
4月	0	2	1	13	1	12	0	1	4	25	6	53
5月	0	3	1	44	1	29	2	1	2	19	6	96
6月	0	11	0	102	2	38	0	1	9	21	11	173
7月	0	13	1	53	0	32	0	0	6	28	7	126
8月	0	11	0	23	0	19	0	1	7	8	7	62
9月	0	10	0	32	0	24	0	0	9	26	9	92
10月	0	17	0	52	0	31	0	1	1	17	1	118
11月	0	15	0	104	0	54	0	1	3	24	3	198
12月	0	6	0	46	2	29	0	0	7	20	9	101
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	88	3	469	6	268	2	6	48	188	59	1019

23 意見・要望等

なし